

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		16 01 06	中期総合計画主要施策番号		3-10	担当課	部・課	警察本部 警務課		
事業名		警察機動力強化事業					内線	4504		
							E-mail	police-keimu@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・警察機動力の基盤である車両の整備により、事件捜査をはじめとするすべての警察活動の維持・強化を図り、県民の安全・安心な生活を守る。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・広域化、スピード化する犯罪の発生に対し、迅速・的確な初動捜査を行い、犯人を現場やその周辺で逮捕するなど、早期解決を図るための機動力が課題となっている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・通信指令システム、カーロケータシステム等、各種システムの高度化整備が進められる中、更新時期が到来している車両が保有車両全体の約25%を占め、このうち、著しく更新が遅延している車両が保有車両全体の約15%を占めている。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・老朽化した車両の早期更新を図り、マンパワーを補完する機動力を向上させる必要がある。								
		事業内容	・老朽化した車両の減耗更新							
		実施期間	不明 ~	根拠法令等		警察法				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
・老朽化した車両の更新により、警察機動力を向上させる。		・計画的な整備により老朽化した車両数を減少させる。(25台の減耗更新を行う。)			・予定どおり25台の車両について減耗更新を行った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	41,911	51,543	31,182	国庫・県単 県単			
	決 算 額 (B)		千円	39,715	51,366		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	39,715	36,558	182	歳出節別 内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.00	1.00	1.00	備品購入費:51,366 (単位: 千円)			
	概算人件費 (C)		千円	7,140	7,149	7,149				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	46,855	58,515	38,331					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	車両老朽化率		%	25.6	24.5	22				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・県民の安全・安心を確保するために、警察機動力の維持・向上は、欠かせないものであり、県費車両の更新を継続的に進める必要がある。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・限りあるマンパワーを補完し、県民に信頼される機動力を確保するため、今後も老朽化した車両の更新を継続していく。							